

令和7年度の教育活動等に対する学校評価書

学校法人静岡聖母学園 磐田聖マリア幼稚園
園長 富田 麻実
磐田聖マリア幼稚園 学校関係者評価委員会
委員長 内藤 かず子

1 幼稚園の教育目標

・建学の精神

1. キリスト教的(カトリック)精神に基づき、学校教育法により幼児の心身の健全な育成を計る。
2. やがて神の愛を知り、人々と愛の生活ができるように幼児の心を育てる。

・教育目標 「愛の心でがんばる子」

・具体目標 神を敬い きれいな心 正しい考え じょうぶな体

2 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画)

・カトリック(キリスト教)の精神を学ぶ

初任者 建学の精神を理解し、幼稚園で働くものとして子どもたちに愛の心を注ぐ日々となるよう努める。

中堅者 初任者に寄り添う(本園の考え方、園の実務について具体的に伝え支える。)

年長者 園の精神に沿って保育が行われているか確認し、問題点の指導に当たる。一緒に考え修正していく。

3 ・モンテッソーリ教育の実践 園生活1日がモンテッソーリ教育に繋がりを持つ。 ・園内研修の充実

評価項目		自己評価(令和 8 年 3 月 1日)		学校関係者評価(令和 8 年 3 月 18日)		
		評価点	幼稚園の取組・反省と改善策	評価点	評価・意見	
教育内容	1	理念・方針	B			
	2	園の課題	B			
	3	行事の精選	A			
	4	園児指導	B			
	5	免許・資格	B			
	6	職員の課題	C	仕事の効率化、職員間での話し合いでチーム保育による助け合いで進める。	C	職員数が多いと共有が難しいが経験を重ねることで今後に期待する。
	7	研修の企画	A			
	8	環境設定	A			
子育て支援	9	未就園児	A			
	10	在園児	B			
	11	児相等の連携	A			
	12	預かり保育内容	B			
	13	預かり保育体制	B			
安全管理	14	施設と設備	C	園舎も古くなってきているため危険箇所の確認や修繕を丁寧に行っていく。	B	古いなりに工夫が必要と思われる。現在の努力は感じられる。
	15	防犯体制	B	門扉の施錠、保護者や来園者の名札着用を徹底する。	B	
	16	安全衛生管理	A		A	
	17	アレルギー対応	A		A	
	18	防災対策	B		B	

評価項目		自己評価(令和 8 年 3 月 1日)		学校関係者評価(令和 8 年 3 月 18日)		
		評価点	幼稚園の取組・反省と改善策	評価点	評価・意見	
人事管理	19	労働条件明示	B		B	
	20	時間外勤務	C	打合せ時間を早め各々が仕事を進められる時間を取りやすくした。行事によっては遅くなる職員もみられる。	C	与えられた時間にやり遂げる能力が大切。行事の見直し、保護者の希望を聞いて進めてほしい
	21	就業規則	B		B	
	22	労働者名簿	A		A	
	23	自己評価	B	それぞれのこれからの課題や伸ばしたい部分がわかり今後にかしていきたい。	A	
財務管理	24	予算作成	B	昨年の反省から経費削減できることから改善した。	B	
	25	決算の分析	B		B	
	26	情報開示	B		B	
	27	個人情報保護	A		A	
	28	経理規程	A		A	

※自己評価、学校関係者評価とも1～28の各評価で特筆すべき点がある場合、またはC、Dの評価点の場合はコメントを記入のこと。

評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

4 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
・カトリック幼稚園の教師としての資質向上	司教様、神父様の講話を聞き心にとめ、子どもたちと共にカトリック精神を学び保育活動に生かしていく。教会の活動や精神性に触れ愛である神様を感じる。子どもたちとの祈りを大切に作る。
・モンテッソーリ教育についての取り組み	有資格者を中心に理論を交えての園内研修を進めていく。教具の扱いや精神性を高めるための個々の学びを積極的に行っていく。
・教員の連携と協力体制	5年以上勤務の保育者が増えてきたことで、それぞれの得意分野を広げられる保育のかたちを工夫していく。自分自身に自信をつけ、子どもたちと向き合い楽しむ保育ができるよう計画的に話し合いや研修等の学びの場を、作っていく。

5 自己評価、学校関係者評価の公表

●公表期間 令和 8 年 3 月 26 日 ～ 令和 8 年 4 月 13 日

●公表方法 学内掲示板による掲示

ホームページ掲載

記入日 令和 8 年 3 月 19 日

記入者 園長 富田 麻実

